



2026年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東
コード番号 5195 URL <https://www.bandogrp.com>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 植野 富夫
問合せ先責任者 （役職名） 財務部長 （氏名） 野戸 亮 TEL 078-304-2516
定時株主総会開催予定日 2026年6月23日 配当支払開始予定日 2026年6月24日
有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		包括利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期	119,257	3.2	9,551	23.3	12,073	246.9	12,646	264.2	10,568	606.2	15,704	596.8
2025年3月期	115,593	6.8	7,743	2.1	3,480	△55.2	3,472	△60.0	1,496	△75.8	2,253	△80.1

（注）コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的 1株当たり当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属 持分当期利益率	総資産税引前当期利益率
	円 銭	円 銭	%	%
2026年3月期	256.49	—	12.1	10.0
2025年3月期	35.32	—	1.8	2.9

（参考）持分法による投資損益 2026年3月期 1,223百万円 2025年3月期 1,629百万円

（2）連結財政状態

	総資産	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期	131,892	92,872	92,608	70.2	2,272.46
2025年3月期	120,693	82,501	82,131	68.0	1,964.73

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	15,592	△3,698	△8,593	21,707
2025年3月期	10,762	△4,186	△6,908	17,715

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	親会社所有者 帰属持分配当 率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2025年3月期	—	38.00	—	38.00	76.00	3,222	215.2	3.8
2026年3月期	—	40.00	—	80.00	120.00	4,943	46.8	5.7
2027年3月期（予想）	—	50.00	—	50.00	100.00		50.9	

（注）2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当60円 記念配当20円（創業120周年記念配当）

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	120,000	0.6	9,600	0.5	11,000	△8.9	8,000	△24.3	196.31

（注）通期連結業績予想には、中東情勢の影響を織り込んでおりません。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	44,213,536株	2025年3月期	44,213,536株
2026年3月期	3,461,077株	2025年3月期	2,410,402株
2026年3月期	41,204,697株	2025年3月期	42,372,281株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	51,544	2.1	935	162.5	8,242	17.1	8,460	363.7
2025年3月期	50,493	5.8	356	△42.4	7,039	△17.4	1,824	△69.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	205.32	—
2025年3月期	43.06	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	73,298	45,398	61.9	1,114.01
2025年3月期	67,547	40,723	60.3	974.16

(参考) 自己資本 2026年3月期 45,398百万円 2025年3月期 40,723百万円

※ 決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等は、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年5月18日（月）に機関投資家およびアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

	2025年3月期 (百万円)	2026年3月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上収益	115,593	119,257	3,664	3.2
自動車部品事業	58,056	60,397	2,340	4.0
産業資材事業	38,100	38,807	707	1.9
高機能エラストマー製品事業	14,216	14,423	207	1.5
その他	6,095	6,954	858	14.1
調整額	△875	△1,324	△449	—
コア営業利益（セグメント利益）（△は損失）	7,743	9,551	1,807	23.3
自動車部品事業	4,897	5,682	785	16.0
産業資材事業	2,541	3,264	723	28.4
高機能エラストマー製品事業	△15	433	448	—
その他	296	242	△53	△18.1
調整額	23	△72	△95	—
営業利益	3,480	12,073	8,592	246.9
税引前当期利益	3,472	12,646	9,173	264.2
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,496	10,568	9,071	606.2

（注）コア営業利益（△は損失）は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

当連結会計年度は、売上収益は119,257百万円（前年同期比3.2%増）、コア営業利益は9,551百万円（前年同期比23.3%増）、営業利益は12,073百万円（前年同期比246.9%増）、税引前当期利益は12,646百万円（前年同期比264.2%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益は10,568百万円（前年同期比606.2%増）となりました。

《セグメント別の状況》

事業（セグメント）別の状況は、次のとおりであります。

[自動車部品事業]

国内においては、自動車生産台数は前年度並みの水準で推移いたしましたが、当社製品採用車種の増加により、補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）と補機駆動用伝動システム製品（オートテンションナなど）の販売が増加いたしました。海外においては、米国では補修市場向け製品の販売は減少いたしました。欧州では同製品の販売が増加いたしました。中国では二輪車メーカーの生産が堅調に推移し、スクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。アジアでは補修市場向けスクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は60,397百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は5,682百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

[産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。海外においては、欧米では産業機械用伝動ベルトの販売が増加し、中国では農業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。アジアでは農業機械用伝動ベルトの販売が減少いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内においてコンベヤベルトの販売は減少いたしました。樹脂コンベヤベルト（サンライン®ベルト）の販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は38,807百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は3,264百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

[高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、装飾表示用フィルムの販売が増加いたしました。

精密機能部品につきましては、精密ベルトおよびブレードの販売は減少いたしましたが、高機能ローラなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は14,423百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は433百万円（前年同期はセグメント損失15百万円）となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを行っており、売上収益は6,954百万円（前年同期比14.1%増）、セグメント利益は242百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11,198百万円増加し、131,892百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物、棚卸資産、有形固定資産ならびにその他の金融資産が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ827百万円増加し、39,019百万円となりました。これは主に、借入金が増加した一方で、営業債務及びその他の債務、未払法人所得税ならびに繰延税金負債が増加したことによるものです。

資本は、前連結会計年度末に比べ10,370百万円増加し、92,872百万円となりました。これは主に、自己株式の取得を実施した一方で、利益剰余金およびその他の資本の構成要素が増加したことによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の68.0%から70.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ3,991百万円増加し、21,707百万円となりました。各連結キャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ4,829百万円収入が増加し、15,592百万円の収入超過となりました。これは主に、税引前当期利益に非資金損益項目等の調整を加減した営業取引による収入が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ487百万円支出が減少し、3,698百万円の支出超過となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が定期預金の預入による支出を上回ったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ1,684百万円支出が増加し、8,593百万円の支出超過となりました。これは主に、有利子負債の削減額が増加したことによるものです。

(4) 今後の見通し

次年度の連結業績予想として、売上収益120,000百万円（当連結会計年度比0.6%増）、コア営業利益9,600百万円（当連結会計年度比0.5%増）、営業利益11,000百万円（当連結会計年度比8.9%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益8,000百万円（当連結会計年度比24.3%減）を見込んでおります。なお、当連結業績予想には、中東情勢の影響を織り込んでおりません。

上記の見通しにおける前提条件は、以下のとおりです。

設備投資額	8,000百万円
減価償却費及び償却費	5,600百万円
為替	1米ドル=150円
	1タイバーツ=4.65円
	1人民元=21.5円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、グローバルでの経営管理の更なる強化および財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的として、国際財務報告基準を任意適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,715	21,707
営業債権及びその他の債権	22,978	23,398
棚卸資産	19,530	21,086
未収法人所得税	380	101
その他の金融資産	1,530	660
その他の流動資産	1,259	1,378
流動資産合計	63,396	68,332
非流動資産		
有形固定資産	30,532	32,653
のれん	1,175	1,178
無形資産	2,748	2,562
持分法で会計処理されている投資	11,590	12,421
その他の金融資産	10,318	12,531
繰延税金資産	647	1,946
その他の非流動資産	283	265
非流動資産合計	57,297	63,559
資産合計	120,693	131,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	18,098	18,905
借入金	5,350	5,229
未払法人所得税	764	1,669
その他の金融負債	1,064	1,218
引当金	1	0
その他の流動負債	6,013	6,560
流動負債合計	31,292	33,583
非流動負債		
借入金	1,787	—
退職給付に係る負債	880	1,033
その他の金融負債	1,649	1,637
繰延税金負債	1,895	2,443
その他の非流動負債	686	321
非流動負債合計	6,899	5,435
負債合計	38,191	39,019
資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	2,921	2,946
利益剰余金	59,418	66,880
自己株式	△3,678	△5,664
その他の資本の構成要素	12,519	17,494
親会社の所有者に帰属する持分合計	82,131	92,608
非支配持分	369	264
資本合計	82,501	92,872
負債および資本合計	120,693	131,892

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	115,593	119,257
売上原価	82,805	83,629
売上総利益	32,787	35,628
販売費及び一般管理費	25,044	26,076
その他の収益	678	1,884
その他の費用	6,570	585
持分法による投資利益	1,629	1,223
営業利益	3,480	12,073
金融収益	582	971
金融費用	590	398
税引前当期利益	3,472	12,646
法人所得税費用	1,931	2,055
当期利益	1,541	10,591
当期利益の帰属：		
親会社の所有者	1,496	10,568
非支配持分	44	22
当期利益	1,541	10,591
親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	35.32	256.49

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期利益	1,541	10,591
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	870	1,756
確定給付制度の再測定	△80	9
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	83	△31
純損益に振り替えられることのない項目合計	872	1,734
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	161	2,667
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	△321	711
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△159	3,378
その他の包括利益合計	712	5,113
当期包括利益	2,253	15,704
当期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	2,210	15,672
非支配持分	43	32
当期包括利益	2,253	15,704

(3) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2024年4月1日 残高	10,951	2,936	61,039	△1,692	11,927	85,163	347	85,511
当期利益			1,496			1,496	44	1,541
その他の包括利益					713	713	△1	712
当期包括利益合計	—	—	1,496	—	713	2,210	43	2,253
剰余金の配当			△3,240			△3,240	△21	△3,261
自己株式の取得				△2,001		△2,001		△2,001
自己株式の処分		1		14		15		15
株式に基づく報酬取引		△15				△15		△15
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替			122		△122	—		—
所有者との取引額等合計	—	△14	△3,117	△1,986	△122	△5,242	△21	△5,263
2025年3月31日 残高	10,951	2,921	59,418	△3,678	12,519	82,131	369	82,501
当期利益			10,568			10,568	22	10,591
その他の包括利益					5,103	5,103	9	5,113
当期包括利益合計	—	—	10,568	—	5,103	15,672	32	15,704
剰余金の配当			△3,235			△3,235	△137	△3,372
自己株式の取得		△43		△2,000		△2,044		△2,044
自己株式の処分		2		15		17		17
株式に基づく報酬取引		65				65		65
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替			128		△128	—		—
所有者との取引額等合計	—	24	△3,106	△1,985	△128	△5,196	△137	△5,333
2026年3月31日 残高	10,951	2,946	66,880	△5,664	17,494	92,608	264	92,872

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	3,472	12,646
減価償却費及び償却費	5,818	5,450
減損損失	5,942	242
受取利息及び受取配当金	△557	△504
支払利息	96	115
為替差損益 (△は益)	120	△330
持分法による投資損益 (△は益)	△1,629	△1,223
固定資産除売却損益 (△は益)	24	11
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△625	△545
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	118	312
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△779	△186
退職給付に係る資産及び負債の増減額	155	71
引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△8	411
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	△356	△366
その他	△245	401
小計	11,548	16,508
利息及び配当金の受取額	2,122	1,535
利息の支払額	△84	△108
法人所得税の支払額	△3,023	△2,681
法人所得税の還付額	199	338
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,762	15,592
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,018	△1,066
定期預金の払戻による収入	3,179	1,968
有形固定資産の取得による支出	△4,265	△4,731
有形固定資産の売却による収入	133	107
無形資産の取得による支出	△311	△323
資本性金融商品の売却による収入	326	334
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△198	—
その他	△32	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,186	△3,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	900	△1,457
長期借入金の返済による支出	△1,350	△450
リース負債の返済による支出	△1,195	△1,268
自己株式の取得による支出	△2,001	△2,044
親会社の所有者への配当金の支払額	△3,240	△3,235
非支配持分への配当金の支払額	△21	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,908	△8,593
現金及び現金同等物に係る換算差額	112	691
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△219	3,991
現金及び現金同等物の期首残高	17,935	17,715
現金及び現金同等物の期末残高	17,715	21,707

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスを軸とした事業部制を採用しており、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内および海外における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループの事業は親会社の事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車部品事業」、「産業資材事業」および「高機能エラストマー製品事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントは、次の製造・販売を行っております。

セグメントの名称	主要な製品
自動車部品事業	自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など
産業資材事業	一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど
高機能エラストマー製品事業	クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど

（２）報告セグメントごとの売上収益、利益または損失およびその他の項目の金額に関する情報

セグメント間の売上収益または振替高は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益または損失およびその他の項目は、次のとおりであります。

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	58,056	38,093	14,216	110,366	5,227	—	115,593
セグメント間の売上収益 または振替高	0	6	0	6	868	△875	—
計	58,056	38,100	14,216	110,373	6,095	△875	115,593
セグメント利益 （コア営業利益）（△は損 失）	4,897	2,541	△15	7,423	296	23	7,743
その他の収益	—	—	—	—	—	—	678
その他の費用	—	—	—	—	—	—	6,570
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	1,629
営業利益	—	—	—	—	—	—	3,480
金融収益	—	—	—	—	—	—	582
金融費用	—	—	—	—	—	—	590
税引前当期利益	—	—	—	—	—	—	3,472
法人所得税費用	—	—	—	—	—	—	1,931
当期利益	—	—	—	—	—	—	1,541
その他の項目							
減価償却費及び償却費	2,686	1,757	610	5,055	494	268	5,818
有形固定資産および 無形資産の増加額	3,003	1,821	472	5,297	210	484	5,992
減損損失	850	53	1,604	2,508	3,433	—	5,942

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

２．調整額は次のとおりであります。

（１）セグメント利益（△は損失）の調整額23百万円には、セグメント間取引消去39百万円、全社費用△16百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

（２）有形固定資産および無形資産の増加額の調整額484百万円は、主に報告セグメントに帰属しない非流動資産等に係るものであります。

３．当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益（△は損失）はコア営業利益で表示しております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	60,397	38,806	14,417	113,620	5,637	—	119,257
セグメント間の売上収益 または振替高	—	0	6	7	1,317	△1,324	—
計	60,397	38,807	14,423	113,628	6,954	△1,324	119,257
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	5,682	3,264	433	9,380	242	△72	9,551
その他の収益	—	—	—	—	—	—	1,884
その他の費用	—	—	—	—	—	—	585
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	1,223
営業利益	—	—	—	—	—	—	12,073
金融収益	—	—	—	—	—	—	971
金融費用	—	—	—	—	—	—	398
税引前当期利益	—	—	—	—	—	—	12,646
法人所得税費用	—	—	—	—	—	—	2,055
当期利益	—	—	—	—	—	—	10,591
その他の項目							
減価償却費及び償却費	2,489	1,836	364	4,690	517	242	5,450
有形固定資産および 無形資産の増加額	2,903	2,475	702	6,080	281	726	7,089
減損損失	—	—	242	242	—	—	242

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

2. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益 (△は損失) の調整額△72百万円には、セグメント間取引消去8百万円、全社費用△80百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

(2) 有形固定資産および無形資産の増加額の調整額726百万円は、主に報告セグメントに帰属しない非流動資産等に係るものであります。

3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益 (△は損失) はコア営業利益で表示しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	1,496	10,568
親会社の普通株主に帰属しない当期利益 (百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	1,496	10,568
発行済普通株式の加重平均株式数 (千株)	42,372	41,204
基本的1株当たり当期利益 (円)	35.32	256.49

なお、希薄化後1株当たり当期利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。